

掲載日	配分機関名	事業名	対象分野	助成金額 及び 助成件数	公募期間 (締切日)	応募方法	備考
2026年09月08日	公益財団法人 上廣 倫理財団	令和8年度研究助成	(1) 人間の「生命」や「生き方」、社会における「共生」に関する哲学、倫理学、教育学、心理学等、人文社会科学分野からの研究 (2) 現代の倫理的課題に関する実態研究及び調査 (3) 学校における倫理教育・道徳教育に関する研究	・助成（新規） 100万円（上限） ・助成（継続） 100万円（上限）	2026年9月19日（土）必着	当財団ホームページの申込フォームから応募してください（郵送は不可）	
2026年09月08日	一般社団法人 日本 経営協会	2026年度 経営科学研究奨励金	研究テーマ ①AIの進展と企業経営に関するテーマ ②地域活性化の諸施策に関するテーマ ③人材マネジメントと企業価値に関するテーマ	若干名について、研究1件につき50万円から100万円を贈呈します。	2026年9月30日（水）	本会所定の「経営科学研究奨励金応募用紙」の応募者自身が記入の上、簡単なプロフィール（フリーフォーマット）を添えてメールにて応募。 Mail bounty@noma	
2026年09月08日	公益財団法人 放送 文化基金	2026年度人文社会部門助成	放送及び放送を取り巻くメディア状況に関する人文社会科学的な倫理研究・調査研究 ・放送の社会的、文化的、歴史的、教育的、公共的な役割や影響に関する調査・研究 ・SNSや配信プラットフォームの進展を踏まえた放送・通信の融合に関する調査・研究 ・AIなどデジタル技術の進化で変化する放送を取り巻くメディア状況に関する調査・研究 ・放送を中心としたメディア・情報関連の法制度、倫理に関する調査・研究 ・放送・通信サービスを活用したコンテンツに関する調査・研究	3部門合わせて8,000万円を予定（1件当たり申請限度額500万円）	2026年9月30日（水）	マイページを取得。マイページにログインし申請書類を作成し提出	
		2026年度技術開発部門助成	放送技術に関する研究 ・放送・通信融合時代における映像・音響の新しい放送サービスに関する研究・開発 ・XR技術など拡張現実、複合現実に関連した新しいサービスの研究・開発 ・映像・音響にかかわりのある基礎的研究および人間の整理・心理等に関する研究			マイページを取得。マイページにログインし申請書類を作成し提出	

		2026年度イベント事業部門助成	メディア文化の向上に資するイベント・事業 ・放送を中心としたメディアの社会的・文化的な価値向上に資するイベント・事業 ・放送を中心としたメディアを活用した地域活性化に資する事業 ・放送の未来を担うメディア連携の人材育成・交流事業 ・放送に関する記録、アーカイブス、著作物などの保存・活用事業 ・放送を基盤とした国際協力事業		2026年10月1日～2026年10月31日	準備中	
2026年09月08日	公益財団法人 明治安田厚生事業団	第42回 若手研究者のための健康科学研究助成	研究テーマ a.指定課題：健康増進のための実装研究 ※エビデンスに基づく健康増進策を社会に普及・定着させる方法の開発とその評価を行う「社会実装型」の研究 b.一般課題：健康増進に寄与する学術研究	総額1500万円 a.指定研究：300万円（1件以内） b.一般課題：100万円（12件以内）	2026年10月1日（木）必着	所定の申請書ファイルを研究助成ホームページからダウンロードして作成し、作成した申請者情報と研究計画をセットにし事務局アドレスE-mail： iosei@my-zaidan.or.jpに送信。	

2026年09月08日	公益財団法人 博報堂教育財団	第22回児童教育実践についての研究助成	子どもたちのあらゆる成長の礎となる「ことばの力」を育む研究や、児童教育実践の質を向上させる研究を助成します。 ※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限ри、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。 ◎「ことばの力」を育む研究 ・国語・日本語教育の諸分野における研究 ・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究 (研究内容例) ・考える、話す、聞く、読む力を育成する教育 ・教科を超えた学力向上のためのことばの教育 ・外国人児童の日本語学習に関する研究 ・特別支援教育での言葉の教育 等 ◎児童教育実践の質を向上させる研究 ・多様な場における教育実践の質を向上させる研究 (研究内容例) ・学びに向かう力を高める研究 ・新しい教育テーマ・方法の開発 ・革新的な学校・授業改革 ・新しい学びの場の創造 等	1ヵ年助成・・・1件につき200万円を制限に助成します。	2026年10月13日（火）	財団ホームページの「児童教育実践についての研究助成」内の「研究助成マイページ」より応募。	
2026年09月08日	公益財団法人鹿島学術振興財団	2027年度 助成援助プログラム	●一般研究助成 ①都市・居住環境の向上 ②国土・資源の有効利用 ③防災・危機管理の推進 ④文化・自然環境の保全 ※①～④に関連する社会システム、情報技術等先端技術に関するものを含む ●国際協働研究助成 一般研究助成に同じ ●特定テーマ研究助成 様々な観点から近未来の社会のあり方を想定し、それを支える建築、都市、地域、社会基盤システムにおいて新たに必要とされる技術開発や、それらを適切に機能させるための社会制度等のあり方に貢献する研究、調査。 ①地域の持続的経営に資する研究 ②カーボンニュートラルな社会の早期実現に資する研究 ③レジリエントな社会や都市の形成に資する研究 ④インクルーシブな町づくりに関する研究 ⑤人口減少・少子高齢化に伴う建設業の問題解決のための研究 ⑥AI・データ駆動・ロボディスクによる建築・建設・不動産システムの変革に関する研究	・一般研究助成・・・最大500万円/件 (継続助成(2年目)を含む)	2026年10月15日（木） 電子申請完了	財団電子システムより申請	

2026年09月08日	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	2027年度助成研究	1) 助成研究A＝ゲーム分野の研究 A-① 重点研究 研究テーマ：DEIBを意識した世界中の人が安心して自分らしくいられるゲーム 2 A-② 基礎的・基盤的研究 ・ゲームの本質に関する研究 ・ゲームと人間に関する研究 ・ゲームと社会に関する研究 ・ゲームと技術に関する研究 2) 助成研究B＝人間と遊びに関する研究に対する助成 ・遊び本質及び影響に関する研究 ・遊び社会的諸活動への応用に関する研究 ・研究助成A又はBのいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究	研究助成A：総額2,200万円（1件当たり200万円）以内 研究助成B：総額400万円（1件当たり100万円）以内	2026年10月15日（木）17時	財団ウェブサイトにアクセスし、フォームに必要事項を入力、アップロードする	
2026年09月08日	公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団	2027年度（第21期生）「YMFSスポーツチャレンジ（研究）助成	研究分野 世界にはばたく逞しい人材の育成を目的に、スポーツ医・科学やスポーツ文化など、スポーツに関わる幅広い学問分野で研究に取り組む方。 日本のスポーツの普及・振興や競技力向上につながる、自然科学・人文社会科学分野において、学術的価値の高い研究を志し、明確な目標を持って挑戦する方。	奨励①・・・1件に対し上限60万円（①と②合わせて5件程度） 奨励②・・・1件に対し上限80万円（①と②合わせて5件程度） ・基本・・・1件に対し上限120万円（10件程度）	令和8年10月30日（金）12：00（正午）	財団WEBサイトにて電子申請	

2026年09月08日	公益財団法人 全国老人福祉施設協議会	令和9年度公募調査研究助成事業	研究テーマ ①介護人材確保に向けて、介護業界への就職者を増やすための方策に関する調査研究 ②利用者の重度化の伴う認知症ケアや看取り支援等のエビデンスに関する調査研究 ③介護現場の生産性向上に関する研究 ④老人福祉・介護事業における女性のキャリアアップに関する調査研究 ⑤地域共生社会に向けた老人福祉施設の役割・今後の展望に関する調査研究	原則として1事業あたり100万円以内	令和8年10月30日（金）23時59分	ホームページより申請書をダウンロードし、メールにて送信。 js.03@roushikyo.or.jp	
2026年09月08日	公益財団法人 平和中島財団	2027年度 研究助成	国際学術研究 ・対象分野は特に限定しないが、学術的な組織で行われる研究が望ましい。 アジア地域重点学術研究 ・アジア地域（中近東、シベリア等を含む）に関するものであれば特に限定はしない。 （注）研究の対象がアジア地域に関するものでないものは、助成の対象とならない。	国際学術研究：1件につき500万円以内 12件 アジア地域重点学術研究：1件につき200万円以内 28件	2026年10月31日（土） （10月末日の消印有効）	申請書を財団ホームページよりダウンロードし作成郵送にて応募	